

## 藤原洋数理科学賞の設立

桂 利行（法政大学理工学部）

最近、数学・数理科学を産業界あるいは社会問題に応用しようという動きが活発になっている。数学応用の観点から功績のあった研究者を顕彰するため、国際数学者連合はガウス賞を設立したが、その第一回受賞者に伊藤清京都大学名誉教授が選ばれたことは記憶に新しい。日本でも、文部科学省科学技術政策研究所は「忘れられた科学—数学」というレポートを2006年に発表し、数学を応用するための方策を模索している。これと呼応するかのようになり、日本科学技術振興財団（JST）は、チーム型の戦略的創造研究推進事業 CREST に数学のテーマを採択し、数学応用を目指したプロジェクトを展開している。国立大学法人においても、数学の応用を模索して、様々な試みがなされている。

このような状況の下、インターネット総合研究所（IRI）の藤原洋所長から、数学のさらなる応用を探り社会の活性化に資するため、数学・数理科学（情報数学を含む）の分野に対する藤原洋数理科学賞設立のご提案をいただいた。授賞対象は現実社会に有益な応用を有する数学の理論を構築した研究者、あるいは社会の発展のために有用な数学の応用を見出した研究者であり、このような業績に対し、大賞1件、奨励賞1件を授与し、社会への貢献を顕彰することを目的にしている。この事業によって、数学・数理科学の応用を見出す研究がますます活性化し、人類社会の発展に大きく寄与することが期待される。

第1回授賞式は次の要領で行われる予定である。

日時：2012年9月30日（日）14：00～17：50

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール

（東急東横線日吉駅下車すぐ）

プログラム（予定）：

13:30- 開場

14:00-14:10 挨拶 藤原洋

14:10-14:55 ピアノコンサート 演奏者 山岸ルツ子

14:55-15:10 休憩

15:10-15:40 授賞式

大賞：小澤 正直（名古屋大学大学院情報科学研究科）

受賞業績「量子情報理論の数学的基礎付け」

奨励賞：平岡 裕章（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所）

受賞業績「トポロジーと力学系理論の情報通信・生命科学等への応用」

奨励賞：蓮尾 一郎（東京大学大学院情報理工学系研究科）

受賞業績「圏論的代数・余代数の理論による計算機システムの形式的検証」

15:40-16:10 奨励賞受賞者講演

講演者：平岡裕章

題目：トポロジー・力学系と応用数学

16:10-16:40 奨励賞受賞者講演

講演者：蓮尾一郎

題目：圏論によるソフトウェア検証手法の汎用化  
—ソフトウェア品質の「証明」にむけて

16:40-16:50 休憩

16:50-17:40 大賞受賞者講演

講演者：小澤正直

題目：量子情報理論から新しい不確定性原理へ

17:40-17:50 審査委員長挨拶

18:00-19:30 レセプション

参加費など：授賞式・講演会への参加費無料，レセプションへの参加費有料

問い合わせ先：藤原洋数理科学賞事務局 [fujiwara-mathematical-sciences@iri.co.jp](mailto:fujiwara-mathematical-sciences@iri.co.jp)

後援：日本数学会

詳しくは，藤原洋数理科学賞のページ <http://www.iri.co.jp/HFprize/> をご覧ください。